

団体名：ユウビレ

事業名：若手移住者と地域住民のつながりを構築し、松本の新たな価値を創造する事業

実施内容

①焚き火、コーヒー湧き水会

日時：2023年9月17日（日）17:00～20:00

場所：芥子坊主公園

参加者：7名 内訳：地元住民3名 移住者4名

地元住民と移住者が集まり、焚き火を囲んでリラックスしながらコーヒーを飲み、会話を楽しむイベントとなりました。参加者は各自、コーヒーやお菓子を持ち寄り、共有し自然の中での体験も楽しめました。地域住民と移住者が交流しやすい雰囲気です。

②SUP イベント

日時：8月19日（土）13:00～17:00

場所：美鈴湖

参加者：6名 内訳：地元住民1名 移住者5名

sup イベントでは、美鈴湖で sup 体験を行う柳沢林業さまにご協力いただき共同で開催しました。初心者から上級者まで参加可能で、インストラクターが基本的な漕ぎ方や楽しみ方をレクチャーしてくださいました。参加者は自分のペースで水上を漕ぎながら、自然の美しさを満喫しておりました。同じ日に SUPJapan という団体の方々もいて、フリースタイル SUP のレクチャーなどもあり楽しむことができました。

③感性マップづくり

日時：2023年11月18日（日）13:00～17:00

場所：出居番丸西

参加者：8名 内訳：地元住民3名 移住者5名

講師にファシリテーターの佐竹宏範さんをお招きして開催しました。感性マップとは、移住者と地元の人々がお互いの視点や感性を通じてつながりを深め、松本市の魅力を見出すことです。参加者は60代～20代の7名の方にご参加いただきました。範囲を決めて歩いてもらったのですが、地元の方と移住者の方々では見ているものや、街への関心度の差異が感じることができました。参加者の方の発言の中で印象的だったのは、「選挙ポスターがあることによって街の景観を崩しているのは？」という問いが面白く、ポスター一枚でも街への印象が変わり、まちづくりについて話すことができたので、印象に残っています。

幅広い年齢層の方に自身の感性や観察力を活かし、市内の特定のエリアを探索しながら、多様な視点からその場所や

要素に特に魅力を感じる場所を見つけ、街への愛着を深めることができました。

目的

若手移住者が地域住民とのつながりを深め、地域社会に溶け込み、豊かな暮らしを実現し、定住を目指すこと。

効果

当事業により、以下のような効果が生まれました。

1. 地域住民と若手移住者の交流が促進され、文化や価値観の共有が生まれ、お互いの理解が深まった。
2. 多世代の交流を実現したことにより、それぞれが触れてきた松本の文化や経験を共有し、新しい視点で松本を捉え直すことができたように感じています。よって、松本への愛着が増し、定住促進に繋がったと思います。

今後の課題

地域住民と移住者の交流のためのイベントであるが、参加者への情報発信が不十分であるため、対象層にイベントの存在が周知されていない。なので、ソーシャルメディアや地域コミュニティのウェブサイトなどを活用し、イベントの告知や情報発信を積極的に行うことをしていきたいと思います。また、今回は補助金事業ということもあり参加費を抑えて開催したので、団体の利益には繋がりにくく、持続可能な活動にしていくために利益を出していくことを目標に活動の幅を広げていきたいです。

事業実施経過

2023. 8	SUP イベント
2023. 9	焚き火、コーヒー湧き水会
2023. 11	感性マップづくり

事業の様子



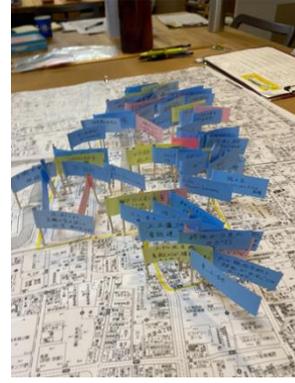
焚き火、コーヒー湧き水会



SUP イベント



感性マップづくり①



感性マップづくり②